

地震災害に備えて

9月1日は防災の日、そして9月は防災月間です。1923年（大正12年）9月1日に起こった関東大震災を教訓にし、防災意識を高めようと定められているものです。

今回は、近年発生した大地震の被災状況などを数字で見ながら、地震への対応を紹介します。これを機会に、災害への備えについて、家族や地域で考えてみましょう。

防災対策室 ☎ 23局3548



阪神・淡路大震災

平成7年1月17日
午前5時46分ごろ発生
[死者]6,434人
[負傷者]4万3,792人
[住家被害]63万9,686棟
[火災被害]7,574棟
[最大震度]7
「マグニチュード」7.3
【消防庁発表資料(確定報)】

新潟県中越地震

平成16年10月23日
午後5時56分ごろ発生
[死者]67人
[負傷者]4,805人
[住家被害]12万1,809棟
[最大震度]7
[マグニチュード]6.8
【消防庁発表資料(第73報)】

能登半島地震

平成19年3月25日
午前9時42分ごろ発生
[死者]1人
[負傷者]359人
[住家被害]1万5,757棟
[最大震度]6強
[マグニチュード]6.9
【消防庁発表資料(第46報)】

新潟県中越沖地震

平成19年7月16日
午前10時13分発生
[死者]11人
[負傷者]1,307人
[住家被害]3万8,584棟
[最大震度]6強
[マグニチュード]6.8
【消防庁発表資料(第40報)】

いつ起きてもおかしくない大地震

東海地震の発生確率は87%
今後30年以内に発生する地震の確率は、東海地震87%、東南海地震60%、南海地震50%といずれも高く、特に東海地震は、いつ起きてもおかしくないとはいわれています。

《対策》

地震はいつ襲ってくるかわかりません。避難場所の確認や家族がバラバラになったときの連絡方法など、家族で話し合っておきましょう。

大地震が発生する確率は高くなっています。今を地震に備える準備期間だと考え、少しずつでもできることから始めておきましょう。